

5月21日(土)に第1回校内テストが実施されました。一学期は基礎からの学び直しに重点を置いています。大きな伸びしろを手にするためには土台となる基礎力の立て直しがカギを握っています。そのために一学期に2回の校内テストを実施して基礎力をチェックする機会を設けています。私も英語の校内テストを採点しながら皆さんの勉強法に思いをめぐらせました。

まず、答案の採点で明らかになったのは「復習不足」でした。たとえば、英文解釈の問題では、講義で扱った英文の文法的構造分析に関する問題と、日本語訳の両面から出題しました。

英文解釈の講義では、英文の構造分析と日本語訳を予習ノートにまとめてきてもらいますが、失点箇所は全て自分が予習で間違えていた構造分析や日本語訳を修正することなくそのまま答案上で同じミスを繰り返しているだけなのです。もちろん、講義では理を尽くしての解説に努めるとともに、扱いきれない豆知識の類は自習用のためのファイル用教材にまとめて配布しています。しかし、誤りを修正せずに繰り返すのですから復習ができていない、またもや正解が出せないのです。

間違いを恐れるな、直せばいい、とはよく言われますが、間違いを犯すな、犯せば二度と直さないので、と言いたくなります。自分のした誤りを理解しなければ何を「学ぶ」ことができるのか？誤りをした自分を理解し修正する以外に「合格」する方法があるのか？というシンプルな問いが私の中で響きます。人間は誰だって毎日同じミスを性懲りもなく繰り返しているのではないかと。よほど痛い目に合わなければ直そうとも思わない。授業中に鉛筆や筆箱を机から落とす生徒は今日も律儀に同じことを繰り返します。それは癖だから直らないのだろうか？しかし皆さんは痛い屈辱を味わったから浪人したのではないかと。それなのに「癖だから、うっかりだから」と誤りを過小に考えていませんか。まさに甘えです。学力の奥底には、このような人間共通の大きなテーマが横たわっています。だから、浪人時代に大きな変化を経験した人は、自分の内面の成長を実感し人生のターニングポイントだったと振り返るのです。ミスを実際に修正することが最も効率的に学び進化する方法です。何はともあれ「今日は何を修正して収穫を得るか」を一日のテーマとして日々充実させましょう。

5月24日(火) GTEC受験 説明会実施

マーク・記述模試でおなじみのベネッセコーポレーション北陸支社から育英予備校へ説明に来てもらいました。センター試験は一発勝負という側面がありますが、GTECを受験し良いスコアをとれば、センター試験(英語)の保険として使えます。保護者の方におかれましては、今回、案内文を同封しましたので、「使える！」という生徒はぜひトライしてください。

6月19日(日) 「早慶」合同入試説明会

6月19日(日)9:30より、育英予備校金沢3Fホールにて、早稲田・慶應義塾両大学による入試説明会を開催いたします。大学入試改革はまだゴールが見えてきませんが、私立大学はすでに各自で変革へと舵を切っています。今回の説明会は、同大学の志望者だけでなく全受験生にかかわる潮流を知る場としてぜひ参加してください。

ソフトボール大会でリフレッシュ

5月27日(金)、犀川河川敷のまめだグラウンドにてソフトボール大会が行われました。授業とは全く違う皆さんの姿でした。速成チームながら声を掛け合ったり応援したりして、皆さんのパワーを感じることができて嬉しかったです。本学で過ごした浪人時代も皆さんの大切な青春の1ページです。



優勝チーム

6月～7月前半の重要スケジュール

- 6月4日(土)・5日(日) 進研マーク模試
- 6月19日(日) 「早慶」合同入試説明会
- 6月25日(土) 第2回校内テスト
- 7月2日(土)・3日(日) 進研記述模試
- 7月15日(金) I期授業終了
- 7月16日(土)・17日(日) 保護者相談会

<事務部からのお知らせ>

「通学定期学割差額補助の申請は6/30まで」

学割差額補助は年3回に分けて支給いたしますが、第1回の支給は、**6/30(木)購入分まで**となります。「学割差額補助申請書」に「定期券のコピー」を添えて、**6/30(木)までに**事務所に提出してください。**(6/30までに購入した定期の差額申請は今回が最後ですので、提出忘れのないようご注意ください。)**